

令和3年11月
第424号



お
お



エレキギターに蘇った神明大杉



10/10 集まろう会 『芋ほり』
子供たちの笑顔が最高！！
約50人も参加してくれました。

おもな内容

- ・大杉保存活用プロジェクト …p1～2
- ・大杉保存活用の安全祈願祭を終えて…p3
- ・神明大杉がバイオリン・エレキギターに …p4
- ・転入のご挨拶 …p5
- ・集まろう会『芋ほり』 …p6

まちづくりとしての取り組み

大杉の倒木からこれまで、大湫町では町民が中心となり、専門家や町外在住者、行政機関の支援を受けながら、一步一步復興に向けて歩んできています。倒木翌日、青々と茂る大杉の葉を撤去し、県道をふさぐ部分を撤去し、山門や倒れた玉垣を整理し、土砂の撤去、倒れた木の根がめくり上げた土や階段の仮整備、境内までの道を作り、土砂の流出を防ぐ土嚢壁を作り、根の洗浄を行ったりと、炎天下の中、連日多くの町民が集まり、額に汗して今できることをいち早く行う姿がありました。

資金面においても、市内30箇所に募金箱を設置し、町民をはじめ、瑞浪市民や地元企業、ニュースを見た方々からの寄付、クラウドファンディングを通じた全国からの支援がありました。まさに人と人の繋がりや支え合いによって今日があり、これからもその輪や思いを途切れることなく広げ、未来へと繋げていくことが必要だと考えています。

まちづくりとして
目指す方向性

- 記録や記憶に残し、これまでの大杉を伝えていく
- 町外の人に関わり、新しい魅力を育んでいく

【具体的に取り組むこと】

大きく3つのことを企画しています。

町外の方にも関わってもらい、これからまた大湫町へ足を運んでもらえるような関係づくりをしていきます。

1. オンラインイベントの開催（11月7日）

主に町外の方に向けて、工事の概要・保存方法を説明したり、まだ残っている細かな枝部分などの活用方法を考えるワークショップを行います。インターネット配信で行います。

2. 大杉の冊子づくり

大杉にまつわる写真集のようなイメージです。写真に、文章を添えてた冊子を制作します。後々に見た時に大杉を思い出せるもの、形として残るものを制作したいと考えています。大湫町の方・町外の方から、写真と文章を募集し、企画・とりまとめは、ナノ側で行います。11月下旬から募集を開始し、2月末には完成予定とします。

町の皆様にも、ご自宅にある写真を提供いたしたいです。詳細は、改めて回覧にてお伝えさせていただきます。

3. 現地でのワークショップ・体験等の実施

①染物体験・・・大杉の皮を使った染物を行う。

時期：11月下旬

会場：大湫小学校跡グラウンド

②注連縄作り・・・大杉にかける注連縄を、町内外の方々と一緒に作る

時期：1月中旬

若手有志の会を中心に注連縄作りの会が補佐に入り、伝統を継承していくことも意識して行います。

③その他にもカトラリーを作ったり、ろくろでひく体験があったり、お菓子を作ってみたり、大杉が持つ様々な可能性を参加者と共に発掘していきます。

▶ 11月7日のオンラインイベントについて

RE:神明大杉

products planning project

2021.11.7 SUN 14:00-16:00
okute + online

大杉に関心を持ってくださっているみなさんと、「こんな風到大杉が使われたら面白い!」といったアイデアを一緒に話せたらと思い、今回のイベントを企画しました。

建築プラン・現場の様子など、現在の工事状況などを共有した上で、より魅力的な活用のアイデアを一緒に考えます。

日時：2021年11月7日（日） 14:00～16:00

場所：ZOOM（オンライン）または現地

定員：最大20名 ※先着

参加費：無料

イベントの詳細は、右のQRコードからご覧いただけます。



10/3 神明白山神社例祭 大杉保存活用工事安全祈願祭

大杉保存活用工事安全祈願祭を終えて

ナノメートルアーキテクチャー 三谷 裕樹

11月に着工する工事に向けて、多くの方の協力を頂きながら想定されることを検討し、準備を進めています。そして10月13日に開催された再生検討会議では設計案の報告をし、最終段階となりました。

今回の工事で難しい点はやはり「やってみないと分からない」ことに尽きます。前代未聞のプロジェクトだけでなく、どれだけ図面やCGで検討をしても想定の外を超えることができません。木の中がどのようなになっているか、重量、劣化の状況など挙げるとキリがありません。そのため多様なメンバーでチーム編成し、多角的な視点から懸念事項を熟考してきました。起こるかもしれない可能性に対して、様々な方法で検討を行い、対策を考えています。どこまで検討をしても完璧にはなりません。これからが本番。工事がスタートします。

10月3日には市長を含め多くの関係者が集まり、大杉の前でお祓いを行いました。安全、安心を第一に進めて参ります。



御神木を使ったバイオリンの製作過程をツイッターと インスタグラムで紹介しています。

中部楽器技術専門学校所属のバイオリン製作家池尻です。

9月の終わりから御神木でのバイオリン製作を開始しています。

現在は専門学校ではなく私の工房で御神木をあまり使用しない部分の作業をしています。

学生たちには御神木を最も使用する表板を12月から作ってもらう予定です。

御神木の杉はバイオリンで通常使用する材料よりも柔らかい印象がありますので、それを活かして優しい音色になるように作っていかうと思います。

中部楽器技術専門学校の学生に作らせたものと、私が製作するバイオリンの2挺とも来年の7月に大湫町に寄付し、神明神社に奉納出来るように作業を進めています。

ツイッターとインスタグラムに作業風景をハッシュタグ #御神木バイオリンで投稿していますので、よろしければ見てみてください。



～ ギターとして蘇る神明神社の大杉 ～

(株) ディバイザー（長野県松本市）では、大湫神明神社の大杉の倒壊ニュースにふれ事業所の社会貢献として何かできないかと考え、大杉復興プロジェクトの一環として、大杉を素材としたエレキギターを製作することにより、音として大杉の記憶を未来へ繋ぐとともに、売上金の一部を寄付することにより、神社の修繕や地域の発展に寄与することといたしました。

製作に当たっては、ギターの「顔」と言えるボディトップに大杉を使用し、着色はせずに大杉の自然の色、木目の美しさを活かした仕上げを施します。また、神明神社に伝わる白蛇伝説をイメージし、アクリルなどの素材を用いてギターの指板上に美しく表現しました。

「大杉ギター」は約20本の製作を予定し、11月からプロモーション動画を配信し、12月内には一般発売を開始する計画です。

大杉が新たな形で人々に愛され受け継がれることを願っています。



転入のご挨拶

加登 利香



初めまして、9月に転入して参りました、加登利香（かとうりか）と申します。出身は東京都品川区で、今回大湫に移住をするまでは、ずっと東京に住んでいました。

現在は、神田地区のシェアハウス（KANDA HOUSE）で共同生活を送りながら、ネットショップの運営と、カフェー清涯荘での仕事に就いています。

東京では、店舗の内装会社に勤めていましたが、そこで清涯荘オーナーの溝口さんと知り合ったことがご縁で、4年半前に初めて大湫を訪れました。その後も何度か訪れ、夏にはちょうど大湫宿で花火を見ることも出来ました。

清涯荘からの景色に魅了されたことと、ネットショップはどこでも続けられること、そして岐阜には他にも友人、知人がいることもあって、大湫への移住を決断した次第です。

今後は、KANDA HOUSEの一部を開放して、ネットショップで扱っている、アメリカのヴィンテージ食器や雑貨を、皆さんにも見ていただけるように、月に数日オープンする予定です。

地域の方々とも、一緒に何か出来たら嬉しく思います。どうぞよろしく願いいたします。

大湫宿に住んでみて

稲月 結花



2019年5月に移住して参りました稲月と申します。以前は三重に住んでいました。仕事を辞めた際に寮を出なければならず、友人に相談したところ大湫町のシェアハウス（柏屋）を紹介してもらいました。

初めて大湫を訪れたとき、ここに住むのは大変そうだと感じたため、正直お断りしようと思っていました。しかし行くあてもなく、とりあえず住んでみようと思いを決めました。

軽い気持ちで来た大湫はとても魅力的な町で、気がつけば2年半が過ぎていました。

春夏秋冬どの季節の景色も素晴らしく、静かでのんびりと過ごせる雰囲気が気に入っています。また、田植えや太鼓の練習などの行事にも参加させていただき、移住者を優しく受け入れてくれる皆様の暖かさも素敵だなと感じます。

今後も大湫町での生活を満喫したいと思っています。ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、何卒よろしく願いいたします。

10 / 10 集まろう会 『芋ほり』

集まろう会が5月23日にサツマイモの苗を植えました。大きく育ち、芋ほりが10月10日に約50人参加して行われました。

「芋ほり」に参加して

廣田家族

3歳、7歳の子供と母の3人で参加させて頂きました。大人も子供も沢山集まり、わいわいにぎやかでした。畑は事前にとっても綺麗に整備して下さっていて、子供でも抜きやすくなっていました。それでも3歳の子には少し難しかったようなので、母が芋の周りの土をほぐしてあげると、「じぶんでやる！」と目がらんらん。意気揚々と芋を掘り起こし、その芋を手を取っ



て、にこにこ顔。7歳の息子はご褒美のアイスが嬉しかったようです。

秋の素敵な体験となりました。畑の日々の管理や事前準備等していただいた皆様、本当にありがとうございます。た。(母)

おいもをほるのがたのしかったです。どうしてかというところ、もぐらがすきだからです。(7歳息子)

「芋ほり」に参加して

酒向家族

4歳の息子と参加させていただきました。

小学生の頃にみんなできつまいもを育てていた畑でしたので、とても懐かしい気持ちになりました。

息子は、すっぱーんと大きなおいもが3つもくっついてきて、とても嬉しそうでした。わたしは土からニョキつと出てきたイモムシに絶叫でした：

収穫したおいもは、鬼まんじゅうにして、息子が得意気に話すさつまいも掘り体験談を聞きながら、家族みんなでおいしくいただきました。ありがとうございました。



10 / 10 公民館講座
『草木染め』

昨年、倒木した大杉の皮を使つての染め物を教えてもらった横井里奈さんに、今回は、玉ねぎの皮をつかつた染液でTシャツの染めを教えてもらいました。

『草木染め』に参加して

天野 佳子

若い講師の先生と百戦錬磨の面白い参加者の方々と、楽しいひと時を過ごせました。

今回は玉ねぎの皮を使つた染め物でしたが、私も大昔に独学で玉ねぎの皮や葡萄の皮、セイタカアワダチソウ、黒豆の煮汁などで白布を染めて楽しんでいたことがありました。

でもいい加減なもので媒染液はお酢だけでしたが、先生には鉄媒染やミョウバン、濃度、温度、時間、一番だし、二番だしなどで、同じ玉ねぎの皮でも色合いが随分と変化する見本を見せて頂き、それぞれの参加者も出来上がりを想像しながら、試行錯誤の講習でした。

まるでお料理教室のようで、玉ねぎはポリフェノールいっぱい！と興味する人も、作業中は手も口も大忙しで、本当に賑やかで笑い過ぎで疲れました。

染め上がり、輪ゴムをほどく手ももどかしく広げた作品はそれぞれの個性満載。ちなみに私のは可愛らしいとのこと。ほんとかな（笑）。



玉ねぎ染液の中のTシャツ。芋の煮っころがしではありません。



どんなTシャツになったかな？文化祭に出品します。見に来てください。



10 / 6

高齢者交通安全教室

『皆さん、信号機の黄色の表示は何ですか』『注意』『止まれ』『正解は』『止まれです』『間違えないでね』『指導員の歯切れ良い話

大竹 悦子

秋の陽は、つるべ落としと言われてます。まだ大丈夫と思い、裏田を一周して来ると、まさかの洗濯物のしめり。幾度となく繰り返ししています。学習が足りないとと言われても仕方がない。それは洗濯物だから済まされる。これが命だったら済まされない。

今回の講話内容の一つはその事でした。

赤・黄・青の三原色の他にシヨツキン

グピンク・黄緑・黒・グレーの服を着たマスコット、それを黒のベールで覆い、そこにライトを当てると、どの色が目立って見えるかである。正しく、今頃夕飯を済ませてウオーキングされる方もおありかと思えます。暗いから顔などわかりません。明るい色の上着を着て歩きましょう。(又は反射タスキ等をかけて)

毎年恒例の指導員さん手作り紙芝居『おとうふの話』も面白おかしく思いつきり笑った一時でした。大声を出しての笑いは、脳の活性化の一つとも言われます。こうした楽しい日々が一日も早く来ますようにと祈りつつ拍手の中で閉じました。生活安全課交通指導員さん、来年も楽しみにしてます。



『何日分笑ったかな』と帰りは来た時より若々しくなりました。8



10月の丸森だより

令和3年 10月 24日現在

10月・11月の丸森の企画

●『思い出の大湫小学校展 II』【10/1～11/7】

- * 昨年に引き続き、旧大湫小学校の生徒の卒業制作等の展示。
- * 会期中、「大湫町の思い出アルバム」を展示。
- * 皆様のリクエストに応じて、懐かしの「安藤秋義 映像コレクション」を上映。

● 神明大杉部材活用の一環として、三戸憲和氏作①大杉スプーン&フォーク(¥500)②フォーク5本入(¥600)③マドラー5本入(¥600)④しゃもじ(¥600)⑤木べら(¥800)などを丸森にて販売します。製作経費を差し引いた収益の全額は大杉の再生復興資金に寄付されます。ぜひご利用ください。

●引き続き『丸森常設展 I』【4/5～ 12/26】

10月の状況と訪問者

町 外		町 内		合 計	その内(外国関係)
大人	幼小中高	大人	幼小中高		
311	32	91	5	439	0

R1 年度同月比	43.4%	R3,4～	2,274	オープンからすべて	37,701
----------	-------	-------	-------	-----------	--------

9月いっぱい続いた緊急事態宣言による休館もあけ、丸森も10/1からは通常開館に戻りました。10月はお祭りの月、例年ならば心躍る季節です。しかし、コロナ禍の状況は未だ不確実な部分が多く、訪れるお客様も躊躇しながらの状態。自粛疲れから、自粛慣れ。今月も相変わらず寂しい大湫宿でした。

昨年に続く『思い出の大湫小学校展 II 10/1～11/7』は、大湫町文化祭を見据えた先行企画。

大湫小といえば「咲き誇れ！ ハカタユリ」。FBC 花壇でも上位入賞の常連校でした。伊勢湾フェリーは卒業制作。

学校生活のひとこま、町の行事、イベント等を記録した貴重なアルバムも閲覧展示。歴代の卒業写真は明治39年からの貴重なもの。

安藤秋義ビデオコレクションもリクエストに応じて上映します。職員一同ご来館をお待ちいたしております。



せら / 11月の集まるう会 R3

大湫町コミュニティ推進
協議会 集まるう会

☆ 太鼓は。『太鼓志多ら瑞浪公演』があります。
 近頃になっていましたが、12月21日(火)に決まりました。
 それに向けての練習をします。11月14日(日)10:00~12:00と、
11月20日(土)9:30~11:00に行います。14日は、大脇先生の指
 導があります。そして、4ヶツ販売も行います。
 日程など、詳しいことも、話し合いが出来ると思います。

☆ 「さつま芋堀り」は、みんなの笑い声で楽しい日となりました。
 いつもなら収穫謝恩会で、皆さんに振るまう
 のですが、それができません。これまでに、畑
 おこしや、草刈り、いろんなことを、手伝って下さった
 方々、いつも、ありがとうございます。
 みなさんのおかげで、子供たちの見守りの、輪が、広がっていきます。

50人もの
人たちが集
まったよ！

瑞浪市図書館に本の寄贈をしていただきました。
 大湫町西区西組
 近藤 博子 さん
 大湫病院 事務管理課
 小木曾 美由紀 さん
 ありがとうございました。

わたしの自然農レポート

杉浦 英子

集まろう会の皆さんの畑でお借りして、きままに、かなり真剣に作っているスギウラです。雑草の生やしたい放題を許して下さっている町の皆さまの寛大に感謝いたします。

“持ち込まない、持ち出さない、虫や草を敵としない”を守り、右端にある肥料を横目ににらみながら、グッとこらえて試してみています。が、元気に育つのは草と茶豆とニンニクくらいで、あとはトマトもキュウリも、スイカもナスも、トウモロコシも苗代も回収できない状態で、こんなはずでは、と自分でも可笑しくなりながら、続けています。

さて、最近 The Asahi Shimbun GLOHE No. 246 に“致死率 3 割の動物由来感染症 SFTS、生態系崩れ拡大”という記事がありました。近年の新型コロナ、エボラ出血熱、鳥インフルエンザ・・・等々、新興感染症の 75% は動物由来感染症（人獣共通感染症）で生物多様性が失われたことや、グローバル化で人やモノの移動が急激に増えたことによると指導されているようです。確か長谷川明先生も広報“大湫”にコウモリ由来の感染症に触れられていらっしやいました。国連環境計画（UNEP）は、昨年 7 月、大規模な感染症の流行が今後も繰り返されると警告しています。

日本では、動物由来感染症の 1 つマダニが媒介する。“重症熱性血小板減少症候群（SFTS）”の研究プロジェクトが進められていて、農水省、厚生省、環境省の 3 つの研究所が垣根を越えて、人と野生動物生態系の健康に一体的に取り組んでいるといます。

雑木林の草むらには、ゴマ粒のようなマダニがいて、仕掛けられた自動撮影装置には、イノシシやハクビシンが映っているそうです。

SFTS ウイルスを持つマダニに人がかまれると、感染して高熱が出て、死亡率は 27～31% という報告もあり、2011 年に中国で初めて特定され、日本でも 13 年に山口県で確認され、西日本を中心に 600 人以上の感染者が出ていて、今年に入って静岡、千葉県でも確認されています。和歌山県で SFT に対する抗体検査をしたところ、シカ、アライグマ、ウサギ、アナグマ、イノシシから 30% 以上の高い陽性率が確認されたそうです。

私がもう一つお借りしている柏屋桐井さんの園にも、ウメやリンゴの苗木がイノシシに荒らされ、放り出されているので、くれぐれも身体を包んで作業しようかなと思っています。それにしても、こんなに身近に危機が迫っているのですね。

わたし達は今、新型コロナに思い知らされています。

2021 / 10 / 15



寿大学

「苔玉・寄せ植え」作り

10月25日、小雨の降る中ではありましたが、寿大学の生徒さんたちは、それぞれ想いの山野草を手に公民館ホールへと集まり、植え込みにとりかかりました。

山口先生の指導の下、手配していただ



いたコケや培土、ネットなどを駆使して、個性ある作品が二十点ほど出来上がりました。

参加者の工夫が伝わる、自然豊かな大湫ならではの作品は、今年も町民文化祭の会場を飾ります。



小川県議と瑞長連
会長に始球式を！









10 / 26

瑞長連女性部パターゴルフ大会

昨日の寒い雨から一転、26日は朝から晴れ暖かいパターゴルフ日和となりました。市内各地区から40名もの人が集まりました。大会スタートです。皆さんお元気です。

大湫公民館・大湫町コミュニティ推進協議会からのお知らせ

	<p>リ・アップ “ひよも” だより 11月のひよも活動 『文化祭作品展示 鑑賞会』 日時：11月3日 9:30～10:00 頃 場所：大湫公民館</p>
	<p>大湫宿お休み処 11月の営業日 3日(水・祝日)・23日(火・祝日) 7日・14日・21日(日曜日) ※当日(お急ぎ)の予約は、丸森(☎0572-63-2455)へ お願いします。</p>
	<p>ご招待券あります (公民館にあります。利用される方は取りに来て下さい..) ・令和3年度特別企画『今日から防災』 10枚 期間:令和3年10月8日～12月12日 場所：岐阜県博物館 ・天野裕夫 彫刻展 6枚(1枚で2名入場できます) 期間：令和3年9月11日～11月14日 場所：瑞浪市市之瀬廣太記念美術館</p>
	<p>オススメ!! 大湫分室の本 『フランスの小さくて温かな暮らし365日』 荻野雅代・桜井道子:著 自由国民社:刊 フランス在住の日本人ふたり組による写真付エッセイ集。 何気ない日常は大切なことに気づかせてくれるヒントになる そうです。 9月の大湫分室 貸出人数:0人 貸出冊数:0冊(閉館中)</p>
	<p>デマンド交通 9月利用者(大湫～日吉東部ルート) 16便延べ 22名(稼働率13.3%)</p> <div data-bbox="991 1608 1422 1731" style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>たくさん利用して 下さい。</p> </div>
	<p>青色回転灯防犯パトロール 11月のパトロール予定者 11月上旬 石田 義人：奥村 敏郎 11月下旬 北澤 健次：渡辺 貴憲</p>

区長日記

いよいよ大杉保存活用工事が佳境となり、あの巨大な大杉に鋸が入ります。そして大型のクレーン車が、何十トンもある大杉を動かすこととなります。周辺にお住いの皆様には何かとご迷惑をお掛けしますが、よろしくご協力のほどお願いいたします。

大湫町は、中山道の宿場町であったという歴史的事実と、宿保全委員会を設けて長年にわたり景観の保全に尽力してきたことにより、これまでも国・県・市を含め大きな予算を投入していただき、家並みはもとより生活環境の改善にも成果を上げて参りました。

これもひとえに、先人のたゆまぬ努力と町民の理解があつてのことであり、今後もこの基本線から外れることなく、町の振興に努めて参りますので、ご支援くださるようお願い申し上げます。

足立

10月1日 定例区長会・幹事会

3日 神明白山例祭・大杉保存活用工事安全祈願祭

- 5日 子育て支援事業打合せ
- 6日 高齢者交通安全講座
- 7日 転入対策委員会
- 8日 県社会教育推進大会
- 10日 岐阜円空仏製作グループ訪町
- 12日 中山道市担当者現地調査
- 13日 第18回神明大杉再生検討会議
- 14日 コミュニティスクール企画委員会
- 17日 足又八幡神社例祭
- 18日 大杉保存活用工事受託事業者打合せ
- 19日 農協事務所問題協議会
- 21日 転入対策委員会「転入のしおり制作会議」
- 22日 中仙道ゴルフ倶楽部社長来訪
- 24日 大杉保存活用工事町民説明会・パター草刈
- 25日 寿大学講座「苔玉・寄せ植え」
- 26日 瑞長連女性部パターゴルフ大会
- 29日 神興改修事業高山調査
- 30日 長寿会社会奉仕活動・こども縁日
- 31日 衆議院議員選挙投票日

二八	二五	二三	二一	二〇	一九	一八	一四	一三	一一	十	七	六	五	四	三	一	日	令和三年十一月行事予定
日	木	火	日	土	金	木	日	土	木	水	日	土	金	木	水	月	曜	
広報委員会	おたのしみ塾	神明神社新嘗祭	子育て支援作業	集まるう会大湫太鼓	子供会インリダー会	公民館講座『親子リトミック』	秋の火災予防運動	公民館講座『親子パン教室』	おたのしみ塾	大杉再生検討会議	さわやかウォーキング	転入対策委員会	区議会・幹事会 県議会大杉視察 釜小草刈りボランティア	釜小草刈りボランティア 公民館講座『親子リトミック』	大湫町文化祭（七日十二時まで）	財産区全員会議		予 定
不燃ごみ：11/2(火) : 資源ごみ：11/19(金)																		

お詫び 訂正

10月号に釜戸警察官駐在所の片桐さんのご紹介をさせていただきますましたが、名前を間違えました。

巡査部長 片桐 正論まさつぐ さんです。

申し訳ありませんでした。

編集後記

朝の寒さが身に沁み、なかなか布団から出られないこの頃です。

大湫は木々が少し色づいてきました。

柿が鈴なりに赤い実をつけ、家の軒先に干し柿がリズムカルに下がっているのをよく目にします

今年は大湫が不順だったのに、実の成るものは不思議に良くできた様です。天然記念物のお葉付銀杏もたくさん落ちていました。

『クテの市』には、春からビワ・スモモ・梅・ブドウ・栗・柿等が並び彩りを添えていました。

昔、稲刈りが終わった田んぼの中で、おばさん達が何かしています。それが2日も3日も続きました。何をしているのか不思議でした。何と佃煮にするイナゴをとっていたそうです。

今ではすっかり見られない風景となつてしまいました。少しさみしいですが、大湫の自然はいろいろな表情を見せてくれます。

M

編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
 令和3年11月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp>